

Roborock Q10V+

ロボット掃除機 取扱説明書

ご使用になる前に本取扱説明書をよく読み、大切に保管してください。



目次

04	安全上のご注意
06	国際記号の説明
07	製品概要
09	使用前の準備
11	アプリへの接続
11	操作方法
13	お手入れ
16	バッテリーの取り外し
17	基本仕様
17	よくあるご質問
19	お問い合わせ先と保証情報
20	保証書
21	保証規定

安全上のご注意

本書には製品を安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。製品をご使用になる前に必ずお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。本書はすぐに参照できるようお手元に保管してください。

誤った使い方によって生じる危害や損害の程度を区分し、以下の通り説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある」内容
 注意	「軽傷を負う、または物的損害を負う可能性がある」内容

以下の記号で使用上お守りいただく内容を説明しています。

 してはいけない内容	 しなければならない内容
--	--

■ 本体

警告

- ⓧ電気カーペット、温冷送風機、フットスイッチなど床面付近に操作部がある機器の近くで使用しないでください。(誤作動の原因)
- ⓧ周囲温度が40℃以上または4℃未満の環境や、トイレ、風呂場などの水回りで使用しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- ⓧ乳幼児や子どもを含む、自分で意思表示できない人や、自分で操作できない人には、使用させたり遊ばせたりしないでください。(けがの原因)
- ⓧ水洗い・水拭き可能と記載された箇所を除き、お手入れに濡れた布や液体を使用しないでください。(感電・故障の原因)
- ⓧ本製品をろうそく、線香、たばこの火、ストーブなど火気のある場所では使用しないでください。(火災の原因)
- ⓧ本製品を分解、修理、改造しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ⓧ本製品を火気に近づけないでください。(火災の原因)
- ⓧタバコ、マッチ、熱い灰など、燃えているものや煙が出ているものを吸い上げないでください。(火災の原因)
- ⓧ本製品を濡らさないでください、充電端子を濡れた布や濡れた手で拭かないでください。(感電・火災の原因)
- ⓧ灯油、アルコール、シンナー、コピー紙のトナーなど引火性のあるもの、油分や他社洗剤などは床から取り除き、吸い上げないでください。(火災の原因)
- ⓧ本製品を掃除またはメンテナンス（ダストボックス・ゴミ収集ボックスの清掃を除く）する前に、電源を切ってプラグをコンセントから抜いてください。(感電・火災の原因)

注意

- ⓧ本製品は、室内床掃除用に設計されています。屋外や、床ではない家具などの表面、商業または産業環境では使用しないでください。(破損の原因)
- ⓧ落下防止柵のない、ロフトや家具の上などの高い場所で本製品を使用しないでください。(破損の原因)
- ⓧ毛足の長いカーペットでは本製品を使用しないでください。(破損の原因)
- ⓧ産業廃棄物、ガラス、釘などの硬いものや尖ったものの掃除に使用しないでください。(破損の原因)
- ⓧ本体に乗ったり、重いものを乗せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。(破損・傷つきの原因)
- ⓧ衣服や、髪、指などの身体部位を本体や充電ドックの開閉口、可動部、吸引口に近づけないでください。(けがの原因)
- ⓧ硬い素材や鋭利な物（ガラスや釘など）を吸引しないでください。(故障・破損の原因)
- ⓧ本製品は取扱説明書に従って使用してください。不適切な使用に起因する損失または損傷については、Roborockはその責を一切負わないものとします。
- ⓧ本製品の使用前に、他の製品のコードが掃除機によって引っ張られないよう片づけてください。(破損・傷つきの原因)
- ⓧ本製品の動作の妨げになったり、本製品が周囲の物を破損したりしないよう、掃除の前に、ビニール袋などの掃除機の吸引口に詰まる可能性のあるものや、花瓶などの壊れやすいものを床から片づけてください。(破損・傷つきの原因)
- ⓧ本体やドックを移動させるときは、両手でしっかりと持って運んでください。本体上部のレーザースキャナーキャップ、ダストボックスを持ち上げないでください。(落下によるけが・床面の傷つき・本体の破損の原因)
- ⓧ火気、熱源、水気のない平らな床の上に本製品を設置してください。狭い場所に置いたり、宙吊りになるような場所に設置しないでください。(破損・傷つきの原因)
- ⓧ本製品を収納するときは、電源ケーブルを抜いてください。(破損の原因)

- ①本体とドックの上に座ったり、立ったりしないでください。(けがの原因)
- ①階段や段差のある場所には、靴やマットなどの物を置かないでください。センサーの誤作動によって本体が転倒する可能性があります。(故障・破損の原因)
- ①本体で水を吸引させたり、水がこぼれているところで使用しないでください。(故障の原因)
- ①本体を長期間使用せずに保管する場合、フル充電し電源を切って涼しく湿度のない環境に置いてください。バッテリーが過剰放電しないように、少なくとも3か月に1回は充電してください。(故障の原因)
- ①ドックの吸引口の近くに物を置かないでください。(故障・破損の原因)
- ①本体とドックの上に子どもやペット、物を乗せないでください。カバー（防塵カバー）などをかけないでください。(けが・故障の原因)
- ①本体がドックと互換性があることを確認してください。互換性がない場合はゴミ収集や充電などに失敗します。(故障の原因)
- ①エアダクトを詰まらせる可能性のある小石、紙くず、その他詰まらせる物を吸い上げないでください。(故障の原因)
- ①乳幼児や子どもが寝ている部屋で本製品を稼働させないでください。(けがの原因)

■ バッテリーと充電

- ①指定の製品以外を充電しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ①本製品を分解、修理、改造しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ①本製品を火気に近づけないでください。(火災の原因)
- ①充電端子を濡れた布や濡れた手で拭かないでください。(感電・火災の原因)
- ①充電ドックを濡れた布で拭いたり、濡れた手で触れないでください。(感電・故障の原因)
- ①不用意にリセットによって、自動ゴミ収集ドックの内部温度が安全水準を超えてしまう危険を防ぐため、自動ゴミ収集ドックを電源関連のタイマーや、電源のオン/オフを定期的に行う電源回路へ接続する外部デバイスなどには接続しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- ①電源電圧が、本製品に記載されている要件を満たしていることを確認してください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ①バッテリーを充電する場合は、roborock AED09LRRまたはSPCDZ04RR (roborock BLJ24WJ200120P-J電源と一緒に使用) ドッキングステーションのみを使用してください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ①付属している電源ケーブルのみを使用してください。(破損・火災の原因)
- ①本製品を収納するときは、電源ケーブルを抜いてください。(破損の原因)
- ①電源ケーブルが損傷した場合は、直ちに使用を止め、サポートセンターまでご連絡ください。(感電・発火の原因)
- ①バッテリーを取り外すときは、本体を充電ドックから取り外し、電源をオフにしてください。バッテリーの取り出し手順は、P.16をご覧ください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ①リチウムイオン電池が搭載されているため、本製品を廃棄するときは、お住まいの自治体を通して廃棄またはリサイクルしてください。(感電・発火の原因)
- ①雷の影響を受けやすい場所や電圧の不安定な場所にドックを設置するときは、保護装置を装着してください。(感電・発火の原因)
- ①本製品を輸送するときは、購入時の梱包状態のままの状態をおすすめします。(故障の原因)

■ 内蔵無線LAN使用上のご注意

- 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- 以下の機器や無線局は、本製品に搭載されているものと同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。
 - a. 産業・科学・医療用機器（電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
 - b. 免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
 - c. 免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）
 以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

■ レーザーの安全性に関する情報

本製品のレーザー距離測定センサーは、IEC 60825-1:2014のクラス 1レーザー製品規格に準拠しており、危険なレーザー放射は行いません。

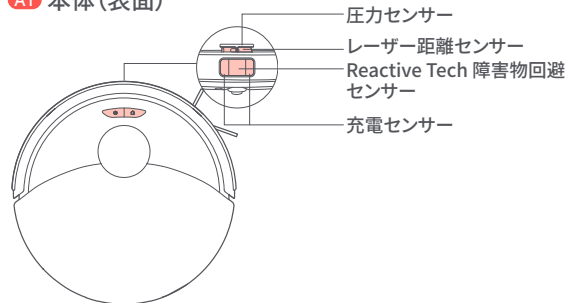
国際記号の説明



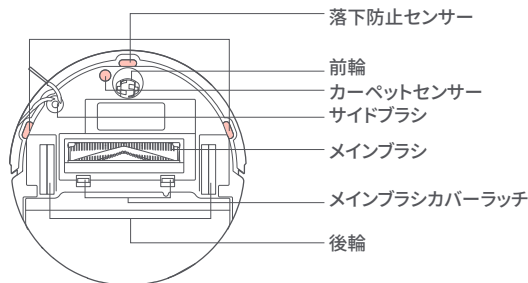
– 室内でのみ使用可能です。水に濡らさないでください。

A 製品概要

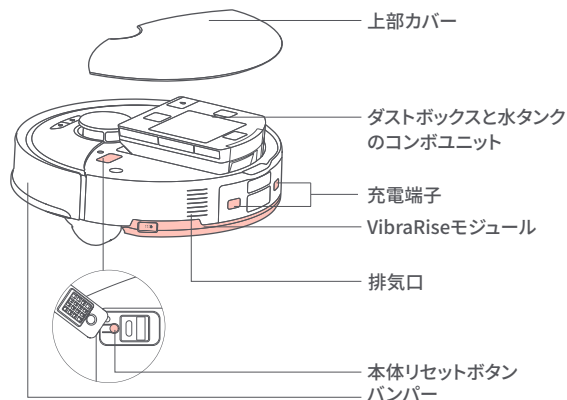
A1 本体(表面)



A2 本体(裏面及びセンサー)



A3 本体(上部カバーを取り外した状態)



電源/掃除

- 長押しすると本体の電源をオンまたはオフにする
- 押して掃除を開始する

電源ランプ

- 白: バッテリー残量 ≥ 15%
- 赤: バッテリー残量 < 15%
- ゆっくり点滅: 充電中または起動中
- 赤色に素早く点滅: エラー
- 青色でゆっくり点滅: WiFi接続の待機中
- 青色で素早く点滅: 接続中
- 青色で点灯: WiFi 接続済み

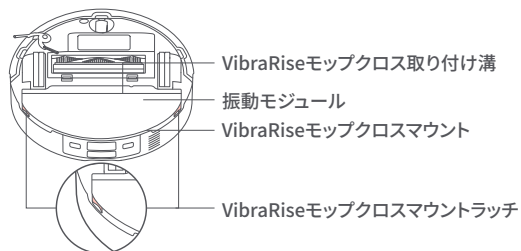


充電ドック

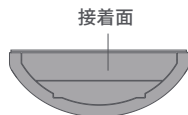
- 押すと、充電ドックに戻る

注意: 掃除中または充電ドックに戻る途中にいずれかのボタンを押すと、動作中のロボット掃除機は一時停止します。

A4 VibraRiseモジュール

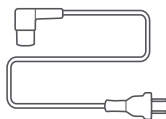


A5 VibraRiseモップクロス

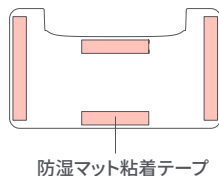


注意：モップクロスを所定の位置に平らに固定してください。

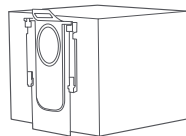
A6 電源ケーブル



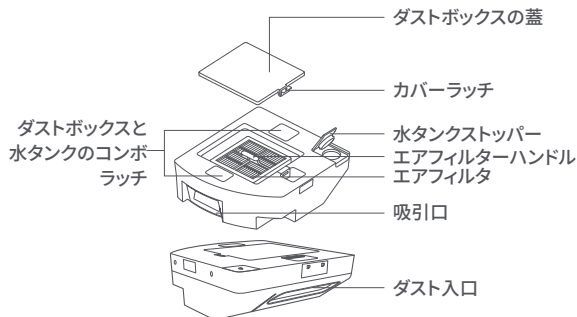
A7 防湿マット



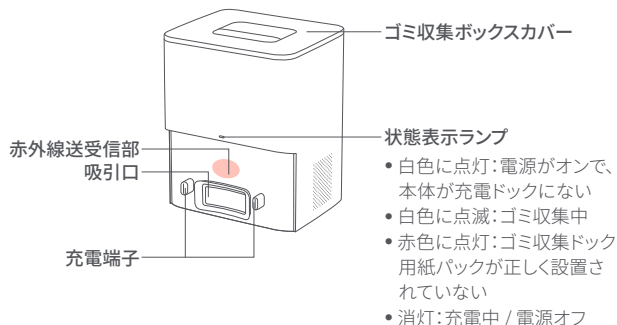
A8 ゴミ収集ドック用 使い捨て紙パック



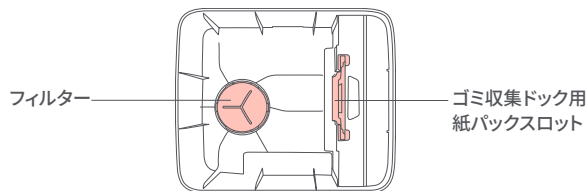
A9 ダストボックスと水タンクのコンボユニット



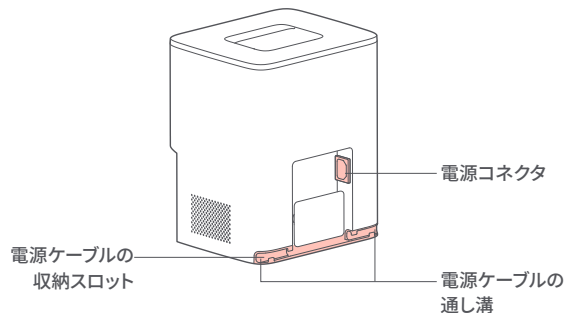
A10 充電ドック (自動ゴミ収集ドック)



(ゴミ収集ボックスカバーを外した状態)



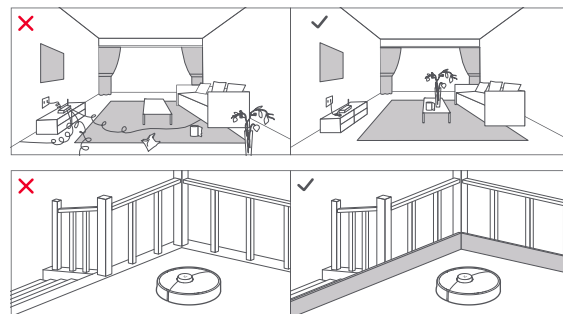
A11 充電ドック(自動ゴミ収集ドック)(裏面図)



注意: 電源ケーブルは左右両側から通せます。

B 使用前の準備

重要な情報



1. 本製品をご使用前に、床に散乱しているケーブル、硬い物、尖った物（釘やガラスなど）を片付け、不安定な物、壊れやすい物、貴重品、危険な物を予め移動させてください。本体に物が絡まったり、ぶつかったり、倒されたりすることによる人身傷害や物的損害を防ぐためです。
2. 落下防止センサーが搭載されていますが、怪我や家具と本体の破損を防ぐため、高いところでご使用される際は、落下防止柵等を設置してください。

注意:

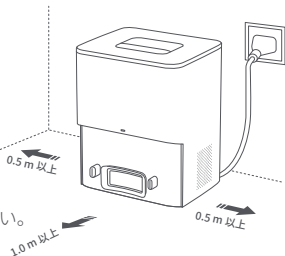
- 初めて使用するときは、障害物などに注意しながら本体の走行状況を確認してください。
- モップにはほりが過度に蓄積されることがあります。本体で初めて水拭きをする前に、床を少なくとも3回吸引掃除をしてください。

B1 充電ドックの設置

平らな床に壁を背にして充電ドックを置き、コンセントに差し込み、余分なケーブルをまとめます。状態表示ランプが正常に点灯するかを確認してください。アプリをより快適にご利用いただくために充電ドックをWiFiルーターの近くなど電波の届きやすいエリアに設置してください。

注意:

- 充電ドックの両側に0.5 m以上、前に1.0 m以上の隙間を開けてください。
- 電源ケーブルが床に垂れ下がっていると、掃除時に引っ掛けて、緩んだり抜けたりすることがあります。
- 充電ドックを直射日光が当たる場所に置いたり、赤外線送信部を遮ったりしないでください。本体が自動的に充電ドックに戻れない原因となります。

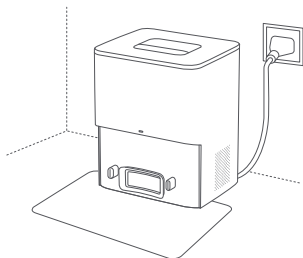


B2 防湿マットの設置

充電ドックの設置位置を確定した後で、防湿マットの設置場所を乾いた布で拭き、防湿マットの底面にある粘着テープを剥がして、床に接着します。

注意:

- 木製の床では、必ず防湿マットをお使いください。
- 必要な場合、接着剤があまり残らないように、両面接着テープをゆっくりと剥がします。
- 防湿マットは滑らかな表面に接着することをお勧めします。



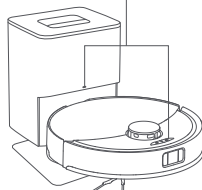
B3 本体の電源を入れ、充電を行う

ご使用する前に、必ず本体の充電センサーのフィルムを剥がしてください。○ ボタンを長押しすると、本体の電源が入ります。電源ランプが白く点灯したら、本体を充電ドックに置き、充電が開始します。掃除機に高性能のバッテリーが搭載されています。バッテリーの性能を維持するため、本体は常に充電したままにしてください。

注意:

- バッテリーの残量が少なくなると、本体の電源が入らないことがあります。本体を充電ドックに接続して充電してください。
- 充電中に、本体の電源は切ることができません。

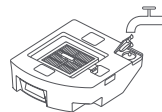
充電ドックの状態表示ランプが消灯し、本体の電源ランプが点滅:
本体充電中



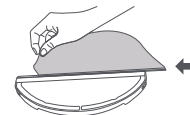
B4 水拭き掃除

注意: モップにほこりが過度に蓄積されることがあります。本体で初めて水拭きをする前に、床を少なくとも3回吸引掃除をしてください。

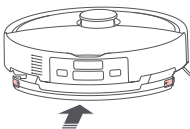
1. ダストボックスと水タンクのコンボユニットを取り外し、水タンクストッパーを開け、水道水を入れてから再度取り付けます。ユニットを直接水に浸さないでください。



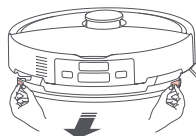
2. モップクロスを湿らせ、余分な水分を絞っておきます。モップクロス取り付け溝に沿って下部からスライドさせて、しっかりと取り付けます。



3. モップクロスマウントをコンボユニットの底部に合わせ、カチッと音がするまで所定の位置にスライドさせます。



4. 本体が掃除を終えて充電ドックに戻ったら、両手でモップクロスマウントの2つのラッチを内側に押し、後方に引いてモップクロスマウントを取り外します。



注意:

- 変形を防ぐため、冷水のみを使用してください。
- ダストボックスと水タンクのコンポユニットを水で洗い流したり、水に浸したりしないでください。
- Roborock 指定外の洗剤、除菌剤は入れないでください。水タンクが破損する恐れがあります。
- 水拭き掃除が完了した後で、ダストボックスと水タンクのコンポユニット、モップクロスマウントを取り外して、水タンク内の水を捨て、モップクロスを洗浄してください。
- 工場出荷前に水を使用したテストを受けているため、ユニット内に少量の水が残っている場合があります。ご了承ください。

C アプリへの接続

C1 アプリのダウンロード

App StoreまたはGoogle Playで「Roborock」を検索するか、QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードおよびインストールしてください。



C2 WiFiのリセット

「ネットワーク設定の準備ができました。」という音声メッセージが聞こえるまで、○ボタンと□ボタンを同時に長押しします。電源ランプが青色にゆっくりと点滅したら、リセットは完了です。本体は接続の待機中です。

注意: WiFiルーター関連の変更、パスワードを忘れた場合、スマートフォンが接続できなかったときは、WiFiをリセットしてからもう一度デバイスを追加してください。

C3 デバイスの追加

Roborockアプリを開き、「デバイスを追加」または「+」ボタンをタップし、アプリ内の案内に従ってデバイスを追加します。

注意:

- アップデートにより、アプリの画面や仕様が変更される場合があります。アプリの案内に従って操作してください。
- この製品は、5GHzのWiFiのネットワークには対応しておりません。2.4GHzのWiFiのネットワークをご利用ください。
- ロボット掃除機が5分以上待機状態が続くと、WiFiは自動的に無効化となります。再接続する場合、WiFiを再度リセットしてください。

D 操作方法

D1 オン/オフ

○ボタンを押し続けると、本体の電源が入ります。電源ランプが点灯し、本体はスタンバイモードに切り替わります。

○ボタンを押し続けると、電源が切れ、進行中の掃除が終了します。

注意: 充電中に、本体の電源は切ることができません。

D2 掃除開始

○ボタンを押して、掃除を開始します。本体は掃除をしながら部屋をスキャンしてマップを生成し、そのマップに基づいて適切な掃除経路の計画を立てます。まず壁に沿って外周を掃除し、次に折り返し回数が最小になるようにZ字ルートで掃除します。

注意:

- 掃除の前に、床にあるコード（充電ドックの電源コードなど）や大切なものを片付けてください。散乱物を本体が引きずると、電化製品が切断したり、コードや物が破損したりすることがあります。
- 掃除を開始する前に、必ずモップクロスが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 本体が自動的に充電ドックに戻るようするには、充電ドックから本体を起動させ、掃除中は充電ドックを移動させないでください。
- バッテリー残量が極端に低下している場合は掃除を開始できません。掃除を開始する前に、本体を充電してください。
- 掃除中にバッテリー残量が少なくなると、本体は自動的に充電ドックに戻って充電を開始します。充電が完了すると、中断したところから掃除を再開します。
- ロボット掃除機はカーペットを掃除するときに、モップクロスが自動でリフトアップできません。また、アプリでカーペットを進入禁止ゾーンに設定すると、カーペットを回避できます。

D3 水拭き掃除のみ

水拭き掃除のみを開始するには、アプリを使用します。
メインブラシとファンの動作速度が下がり、モップクロスが下りています。

注意：吸引後に水拭き掃除と比べて、「水拭き掃除のみ」から発生する騒音はより小さいです。

D4 一時停止

本体の稼働中にいずれかのボタンを押すと停止し、○ ボタンを押すと掃除を続行します。本体が一時停止している状態で □ ボタンを押すと、充電ドックに戻ります。

注意：一時停止している本体を手動で充電ドックに接続すると、進行中の掃除が終了します。

D5 スリープ

本体は10分以上動作しないと、スリープモードに入り、電源ランプがゆっくりと点滅します。いずれかのボタンを押すと、スリープモードは解除します。

注意：

- 充電中はスリープモードにはなりません。
- 12時間以上スリープモードのままになっている場合、本体の電源は自動的にオフになります。

D6 自動ゴミ収集

掃除が終了し、本体が充電ドックに戻るとゴミの自動収集が開始します。手動でゴミ収集を開始する場合は、本体にある □ ボタンを押すかアプリで対応するボタンをタップします。

注意：

- ゴミ収集が長期間されてこなかった場合、ダストボックスのゴミ収集を手動で行い、吸口がきれいになっていることを確認し、ゴミ収集性能を最高に発揮させてください。
- アプリで自動ゴミ収集を無効にすることができます。
- 手動でのゴミ収集は頻繁に行わないでください。

D7 充電

自動：掃除後、本体は充電のため自動的に充電ドックに戻ります。
手動：一時停止している状態で、□ ボタンを押すと、本体は充電ドックに戻ります。

本体が充電されると、電源ランプはゆっくり点滅します。

注意：充電ドックを見つけれない場合、本体は掃除を開始したところに戻ります。本体を手動で充電ドックに接続し充電してください。

D8 エラー

エラーが発生した場合、電源ランプが赤色に素早く点滅し、音声案内が流れます。

注意：

- エラーのまま未操作の状態が10分間続くと、本体は自動的にスリープモードに切り替わります。
- エラー状態のときに、本体が充電ドックに接続されると、進行中の掃除は終了します。

D9 おやすみモード

アプリからおやすみモードを設定すると、設定した時間内は自動充電後の掃除の再開や音声案内は行われず、電源ランプは暗くなり、音声の音量も小さくなります。このモードは初期設定で22:00~8:00の間有効になっています。無効にすることも、設定時間を変更することもアプリに操作できます。

D10 システムリセット

ボタンが反応しない、または電源が切れない場合は、本体リセットボタンを押してシステムをリセットします。

注意：システムをリセットすると、掃除予約やWiFiなどの既存の設定が工場出荷時の設定に戻されます。

D11 WiFiを無効する方法

ロボット掃除機をWiFiから切断するには、WiFiをリセットし、リセットが成功したことを確認してください。その後、5分待つとWiFiが自動的に無効化されます。再接続したい場合は、接続手順に従ってください。

D12 工場出荷時の状態に戻す

システムリセットをしても改善しない場合は、本体の電源が入った状態で、**○**ボタンを長押ししながら、リセットボタンを1回押してください。**○**ボタンを離さず「工場出荷時の設定に戻します。これには5分ほどかかります。」という音声案内が流れるまでお待ちください。その後、本体は工場出荷時の設定に戻されます。

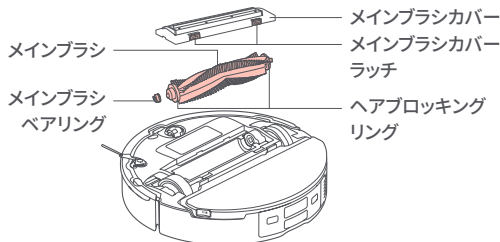
E お手入れ

注意:

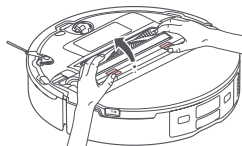
- お手入れする際は、充電ドックのコンセントを抜き、本体の電源をオフにしてから行ってください。
- 交換する頻度は実際の使用状況によって異なる場合がございます。アクセサリーの消耗が激しい場合は早めの交換をおすすめします。

E1 メインブラシ

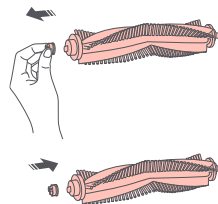
* 2週間に1度清掃し、6~12か月に1度交換してください。



1. 本体を裏返し、2つのラッチを内側に押してメインブラシカバーを取り外します。



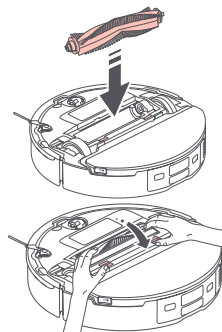
2. メインブラシを引き出し、ベアリングを図のように取り外します。メインブラシとベアリングに絡まった毛や汚れを取り除き、再度ベアリングをメインブラシに取り付けます。



3. メインブラシとメインブラシカバーを再度取り付け、カバーをしっかりと押します。

注意:

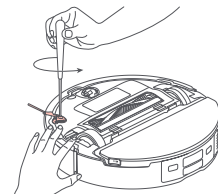
- 濡れた布でメインブラシを拭いてください。直射日光に当てずに完全に乾かしてから取り付けてください。
- メインブラシを洗浄するために、洗剤や除菌洗剤は使用しないでください。



E2 サイドブラシ

* 月に1回清掃し、3~6か月に1度交換してください。

1. 本体を裏返し、サイドブラシのネジを外します。
2. サイドブラシを取り外して清掃します。その後、サイドブラシを元の位置に取り付け、ネジを締めます。



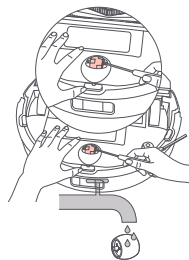
E3 前輪

* 必要に応じて清掃してください。

1. 本体を裏返し、小さなスクリュードライバーなどを使用して、軸をこじ開け、輪を取り外します。

注意：前輪ブラケットは取り外すことはできません。

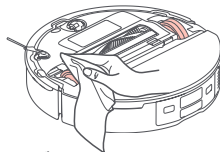
2. 車軸と車輪を水ですすいで、髪の毛や汚れを取り除きます。車軸と車輪を乾かし、ブラケットに押し込んで元の位置に取り付けます。



E4 後輪

* 必要に応じて清掃してください。

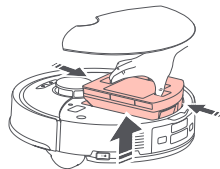
本体を裏返し、乾いた柔らかい布で後輪を拭いてきれいにします。



E5 ダストボックスと水タンクのコンボユニット

* 必要に応じて清掃してください。

1. 本体の上部カバーを開け、ユニットを取り外します。



2. ダストボックスの蓋を開け、エアフィルタを取り外し、ダストボックスを空にして清掃します。

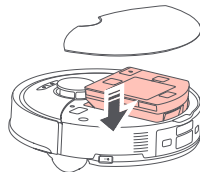


3. 水タンクストッパーを開け、タンクの未使用の水を捨てます。



4. ユニートをロボット掃除機に再度取り付けます。

注意：臭いを防ぐために、水拭き掃除が完了した後で水タンクを空にして、モップクロスを洗浄し、完全に乾かしてから取り付けてください。



E6 エアフィルタ

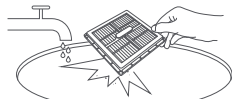
* 2週間に1度清掃し、6～12か月に1度交換してください。

1. ダストボックスの蓋を開け、エアフィルタを取り外します。

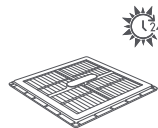


2. エアフィルターを繰り返し水ですすいで、フレームを軽く叩いて汚れを落とします。

注意：エアフィルターが損傷する恐れがあるため、ブラシなどで強く擦ったり、手で引っかかりたりしないでください。



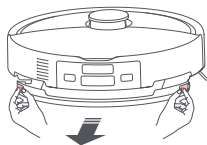
3. エアフィルターを24時間以上を目安に完全に乾かしてから取り付けてください。



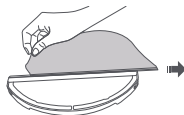
E7 VibraRiseモップクロス

* 使用後に毎回清掃し、3～6か月に1度交換してください。

1. モップクロスマウントの両側を持って取り外します。



2. モップクロスをマウントから取り外します。



3. モップクロスを洗淨し、自然乾燥させます。

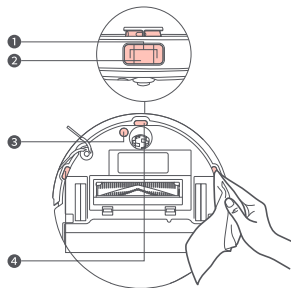


E8 本体のセンサー

* 必要に応じて清掃してください。

柔らかい乾いた布を使用して、以下のセンサーを拭き清掃します。

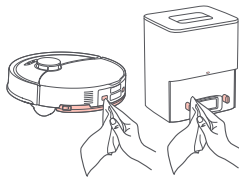
1. 充電センサー
2. Reactive Tech障害物回避センサー
3. カーペットセンサー
4. 落下防止センサー



E9 充電端子

* 必要に応じて清掃してください。

柔らかい乾いた布を使用して、ロボット掃除機と充電ドックの充電端子を拭きます。



E10 充電ドックの移動

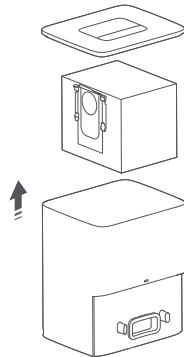
充電ドックを移動させるには、図のように充電ドックの下部を持って運んでください。



E11 自動ゴミ収集ドック

* ゴミ収集の性能を維持するため、ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックが満杯になったらすぐに交換してください。

1. ゴミ収集ボックスカバーを開け、ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックをゴミ収集ボックスから取り出して捨てます。

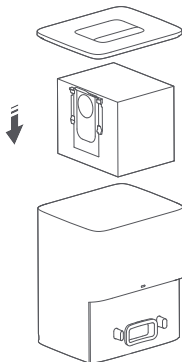


2. フィルターは乾いた布で清掃します。

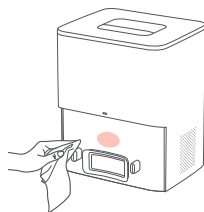


3. 新しいゴミ収集ドック用使い捨て紙パックを所定の位置に取り付け、ゴミ収集ボックスカバーを閉じます。

注意: ゴミの漏れや充電ドックの損傷を防ぐため、ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックがスロットに沿って所定の位置に取り付けられていることを確認してください。



4. 赤外線送受信部と充電端子を清潔に保つため、柔らかい乾いた布で拭きます。



バッテリーの取り外し

本製品を廃棄する際は、バッテリーを取り出してください。

取り出したバッテリーは、貴重な資源を守るために、充電式電池リサイクル協力店へお持ちいただくか、お住まいの自治体を通じてリサイクルいただけますようお願いいたします。

または、サポートセンターまでお問い合わせください。

バッテリーの取り出し方

* バッテリーの取り出しは、本製品を廃棄する場合のみ行ってください。

1. 本体の電源を切ります。

注意:

- バッテリーを取り出す前に、電池が完全に消耗していることを確認してください。
- 本体が充電ドックに接続されている場合は、バッテリーを取り出さないでください。

2. バッテリーカバーのネジを外し、カバーを取り外します。

3. バックルを押してバッテリーのコネクタープラグを引き抜き、バッテリーを取り出します。

注意:

- バッテリーパック全体を取り出してください。
- 電池のショートや液漏れを防ぐために、バッテリーパックを傷つけないでください。
- 電池が液漏れて目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

基本仕様

本体

モデル	RRA0TAL
製品型番	Q10VP52-04 (黒)
サイズ	幅:353×奥行:353×高さ:99mm
重量	約4kg
バッテリー	14.4V/5200mAh (公称容量) リチウムイオン電池
ネットワーク接続	WiFi
定格入力	20VDC 1.2A
充電時間	約4.5 時間

自動ゴミ収集ドック

モデル	AED09LRR
サイズ	幅212×奥行178×高さ258.5mm
重量	約2.16kg
定格入力電圧	100VAC
定格周波数	50/60 Hz
定格入力 (ゴミ収集時)	5A
定格入力 (充電時)	0.5A
定格出力	20VDC 1.2A
充電バッテリー	14.4V/5200mAh (公称容量) リチウムイオン電池

WiFi

プロトコル	802.11b/g/n
周波数帯	2.4 GHz

注意: シリアル番号は、ロボット掃除機の底面にあるステッカーに記載されています。

よくあるご質問

問題	解決策
電源が入らない	• バッテリー残量が低下しています。ご使用前に本体を充電ドックに戻して充電してください。 • バッテリー温度が低すぎるか、または高すぎます。本体は4℃～40℃の範囲で使用してください。
充電できない	• 充電ドックが電源に接続されていません。電源ケーブルの両端が正しく接続されているか確認してください。 • 接触不良です。充電ドックと本体の充電端子をきれいにしてください。 • バッテリー温度が低すぎるか、または高すぎます。本体は4℃～40℃の範囲で使用してください。
充電ドックに戻らない	• 充電ドックの付近の障害物があります。障害物を片付けてください。 • 本体が充電ドックから遠すぎます。本体を充電ドックの近くに置いて、再度試してください。
動作が異常	• 本体の電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。
WiFiに接続できない	• WiFiが無効です。WiFiをリセットして、再度試してください。 • WiFiの電波が弱いです。WiFiの電波が届きやすい場所に本体を移動させてください。 • WiFi接続に異常があります。WiFiをリセットし、最新バージョンのアプリをダウンロードして再試行してください。 • WiFiに急に接続できなくなりました。ルーター設定にエラーがある可能性があります。問題が解決しない場合は、Roborockカスタム サービスまでお問い合わせください。
本体がオフラインになる	• ロボット掃除機がRoborockアプリに接続され、常にWiFi電波の良好な場所にあるようにしてください。
掃除中のノイズ	• メインブラシ、サイドブラシ、または後輪にゴミが詰まっている可能性があります。本体の電源を切り、これらの部品をきれいにしてください。 • 前輪にゴミが詰まっている可能性があります。スクリュードライバーを使用してゴミを取り除きます。 • モップモジュールの周囲に物が詰まっていないか確認してください。

問題	解決策
吸引力が低下したまたは吸い込んだ埃が落ちる	• ダストボックスがいっぱいの可能性があります。ゴミを捨ててください。 • エアフィルターが詰まっている可能性があります。エアフィルターを掃除してください。 • メインブラシに異物が絡まっている可能性があります。絡まっているものを取り除いてください。
予約掃除が動作しない	• 掃除予約は本体が充電中かつバッテリー残量が15%以上の場合のみ、開始できます。
充電後に掃除が再開されない	• おやすみモードになっていないか確認してください。おやすみモードに設定した時間内は自動充電後の掃除の再開は行われません。 • 手動で本体を充電ドックに接続したり、 ボタンを押して充電ドックに戻したりする場合、掃除は再開されません。
充電速度が遅い	• 本体を高温または低温環境で使用すると、バッテリー寿命を延ばすために本体の充電速度が自動的に低下します。 • 充電端子が汚れています。柔らかい乾いた布で拭いてください。
本体を充電ドックに接続した状態でも、バッテリーは消耗しますか？	• 本体は充電ドックに接続されているとき、バッテリー性能を維持するために、ごく少量の電力を消耗します。
最初の3回の使用では、本体を16時間以上に充電する必要がありますか？	• いいえ、リチウムイオン電池にはメモリー効果がありません。本体は一度完全に充電されれば使用できます。
ロボット掃除機が特定のスポットを飛ばし始めた	• 落下防止センサーまたはカーペットセンサーが汚れている可能性があります。柔らかい乾いた布で拭いてきれいにしてください。

問題	解決策
水拭き中に水が出ない、または少ない	• モバイルアプリを使用して、水量を調整してください。 • 水タンクに水があるかどうか確認し、取扱説明書を参照し、ダストボックスと水タンクのコンポユニット、モップクロスマウントおよびモップクロスを正しく取り付ける方法を確認してください。
スポット掃除後または手動で本体を移動させた後、充電ドックに戻ることができない	• スポット掃除後、または大幅な位置変更の後、本体はマップを再生成します。充電ドックが遠くにある場合、本体は充電の為に自動的に戻れないことがあります。本体を手動で充電ドックの近くに置いてください。
状態表示ランプが赤色に点灯	• ゴミ収集ドック用紙バックが所定の位置にありません。確認して所定の位置に取り付けてください。
ゴミ収集時にゴミ収集機能が低下している、または異常な音がする	• メインブラシまたはメインブラシカバーが正しく取り付けられていません。確認して所定の位置に取り付けてください。 • フィルター、エアダクト、ゴミ収集ドック用紙バック、吸引口、吸気口、ダストボックスのいずれかが詰まっています。清掃して詰まりを除去してください。
自動ゴミ収集ができない	• 自動ゴミ収集が無効になっています。アプリの設定を確認してください。 • ゴミ収集ボックスカバーが取り付けられていません。確認して取り付けてください。 • 本体が掃除を行わないと自動ゴミ収集は開始しません。 • 本体がおやすみモードで充電ドックへ戻ると、自動ゴミ収集は行われません。掃除時間またはおやすみ時間を調整します。

お問い合わせ先と保証情報

● お問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際は、ご使用の環境や症状をできる限り具体的にお知らせください。

Roborock カスタマーサポートセンター

Eメール: support@roborock.co.jp

(営業時間: 10:00~17:00※土日祝除く)

● 修理・交換

製品の修理・交換を希望される際は、あらかじめ上記カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

- ご購入後1年の保証期間中に、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常に使用した結果、発生した製品の不良につきましては、無償にて、修理・交換をいたします。
- 修理中の代替機のお貸し出しはしていません。

● 初期不良について

- 初期不良における交換期間は、ご購入日より15日となります。
- 初期不良があった場合は、ご注文情報（注文番号、注文日、販売元）および製品の状態についてRoborockカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。カスタマーサポートにて初期不良と判断した場合は、新品交換にて対応いたします。

※詳細は、保証規定のページをご確認ください。

保証書

モデル : RRA0TAL _____

シリアル番号 : _____

本体のシリアル番号をご記入ください。（Rから始まる 14桁の番号）
シリアル番号は、本体の裏面とダストボックスを取り外した底面に記載されています。

ご 氏 名 : _____

保 証 期 間 : ご購入年月日より1年間 _____

ご購入日をご記入いただいていない場合、レシートなどの購入履歴でご購入日を算出し、保証期間を設定します。

法 人 名 : _____

ご 住 所 : _____

TEL : _____

販 売 店 名 : _____

ご 購 入 日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

この度はRoborock Q10V+をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本保証書はご購入日から上記保証期間中に故障が発生した場合、保証規定に基づき無償交換・修理を行うことをお約束するものです。詳細は保証規定をご確認ください。交換・修理の際は、記載事項が記された保証書をご提示ください。または、購入店舗が発行したレシートや購入が証明ができる書面と保証書をご提示してください。保証書は再発行しませんので大切に保管してください。また、交換・修理対応は日本国内に限ります。

保証規定

1. 保証規定の内容

この保証規定は、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常な使用、またそれらに記載された条件下での使用のもとで本保証書記載の保証期間中に故障が発生した場合、本規定に基づきRoborockカスタマーサポートセンターが無償交換・修理を行うことをお約束するものです。また、本規定は本保証書が添付されているRoborock Q10V+ に対してお客様が期待される性能や成果、運用上の結果を保証するものではありません。

2. 保証書の効力

この保証書は、本書に記載された保証規定の条件および期間に基づいて、本保証書が添付されたRoborock Q10V+の無償交換・修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

3. 保証の対象

この保証規定による無償交換・修理の対象となるのはRoborock Q10V+の本体、充電ドックに限ります。アクセサリ類は保証の対象外となりますので、ご了承ください。

4. お客様の負担

この保証規定による無償交換・修理を受けられる場合は、あらかじめRoborockカスタマーサポートセンターにご連絡ください。保証対象期間を過ぎている有償修理または、お客様の誤った使用に起因する故障の修理を受けられる場合は、送料などの諸費用はお客様ご自身のご負担になりますのでご了承くださいませようお願い申し上げます。

5. 保証期間

製品ご購入日より起算した保証書記載の期間とします。ご購入日の記入がない場合は、レシートなどの購入履歴でご購入日を算出し、その日を基準に保証期間を設定いたします。

6. 個人情報の取り扱い

お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の保証サービス対応およびその後の安全点検活動のために利用させて頂く場合があります。また、修理のために、弊社から修理委託している保守会社等に必要情報を預託する場合がありますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

7. 保証を受けられない場合

保証期間内であっても以下に該当する場合は有償修理とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

- 1) 本保証書のご提示がない場合。
- 2) 本保証書規定の字句及び本保証書の他の字句が書き換えられている場合。
- 3) 台風、水害、地震、落雷などの自然災害及びその二次災害、火災、公害や異常電圧による、破損や故障、紛失があった場合。
- 4) 取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法または注意事項に反するお取り扱いがあった場合。
- 5) Beijing Roborock Technology Co., Ltd. 以外の第三者またはお客様ご自身による改造、またはご使用の責任に帰すると認められる破損や故障があった場合。
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時、持ち運び時の落下や衝撃、悪条件下での放置など、お取り扱いが不適切なため生じた故障や破損、紛失があった場合。

- 7) ケーブルなど本体以外の付属品の故障や破損、消耗品の補充や仕様によって消耗、摩耗する部品の交換を行う場合。
 - 8) 本製品を正規の販売店以外から購入された場合。(フリマサイト、フリマアプリ等の個人間売買サイト等での購入または譲受も含まれます)
 - 9) その他、Roborockカスタマーサポートセンターの判断に基づき有償と判断した場合。
8. 有償修理を受けられない場合
- 以下に該当する場合は有償修理を受けられませんので、あらかじめご了承ください。
- 1) 本製品を日本以外の国で購入した場合。
 - 2) 本製品を日本国外にて使用した場合。
9. 初期不良について
- 初期不良における交換期間は、ご購入日より15日となります。初期不良があった場合は、ご注文情報(注文番号、注文日、販売元)および製品の状態についてRoborockカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。カスタマーサポートにて初期不良と判断した場合は、新品交換にて対応いたします。
10. 保証規定の変更
- 弊社は、お客様への事前の通知およびその承諾なしに本保証規定の内容を変更できるものとします。この場合、保証の提供条件は変更後の保証内容によるものとします。なお、変更後の保証規定については、弊社のWebサイト等により通知するものとし、通知によりお客様は同意したものとみなします。

Roborock Q10V+ ロボット掃除機 取扱説明書

製品型番: RRA0TAL

製造元: Beijing Roborock Technology Co., Ltd.

製造元の住所: Room 1001, Floor 10, Building 3, Yard 17, Anju Road,
Changping District, Beijing, P.R.China

製品の詳細については、弊社の Web サイト: www.roborock.jp をご覧ください。

販売後のサポートについては、Roborock カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。



007001856V1.0